

○文部科学省告示第百六十二号

学校給食法（昭和二十九年法律第百六十号）第八条第一項の規定に基づき、学校給食実施基準（平成二十一年文部科学省告示第六十一号）の一部を次のように改正し、平成三十年八月一日から施行する。

平成三十年七月三十一日

文部科学大臣 林 芳正

次の表により、改正前欄に掲げる規定の傍線を付した部分又は破線で囲んだ部分をこれに順次対応する改正後欄に掲げる規定の傍線を付した部分又は破線で囲んだ部分のように改める。

改正後

別表 (第四条関係)

児童又は生徒一人一回当たりの学校給食摂取基準

| 区分 | 基準値 | | | |
|-------------------------|--------------------------|--------------|----------------|----------------|
| | 児童(6歳～7歳)の場合 | 児童(8歳～9歳)の場合 | 児童(10歳～11歳)の場合 | 生徒(12歳～14歳)の場合 |
| エネルギー (kcal) | 530 | 650 | 780 | 890 |
| たんぱく質 (%) | 学校給食による摂取エネルギー全体の13%～20% | | | |
| 脂質 (%) | 学校給食による摂取エネルギー全体の20%～30% | | | |
| ナトリウム (食塩相当量) (g) | 2未満 | 2未満 | 2.5未満 | 2.5未満 |
| カルシウム (mg) | 290 | 350 | 360 | 450 |
| マグネシウム (mg) | 40 | 50 | 70 | 120 |
| 鉄 (mg) | 2.5 | 3 | 4 | 4 |
| ビタミンA (μgRAE) | 170 | 200 | 240 | 300 |
| ビタミンB ₁ (mg) | 0.3 | 0.4 | 0.5 | 0.5 |
| ビタミンB ₂ (mg) | 0.4 | 0.4 | 0.5 | 0.6 |
| ビタミンC (mg) | 20 | 20 | 25 | 30 |
| 食物繊維 (g) | 4以上 | 5以上 | 5以上 | 6.5以上 |

(注) 1 表に掲げるもののほか、次に掲げるものについても示した摂取について配慮すること。

- 1 亜鉛……児童(6歳～7歳) 2mg、児童(8歳～9歳) 2mg、児童(10歳～11歳) 2mg、生徒(12歳～14歳) 3mg
- 2 この摂取基準は、全国的な平均値を示したものであるから、適用に当たっては、個々の健康及び生活活動等の実態並びに地域の実情等に十分配慮し、弾力的に運用すること。
- 3 献立の作成に当たっては、多様な食品を適切に組み合わせるよう配慮すること。

改正前

別表 (第四条関係)

児童又は生徒一人一回当たりの学校給食摂取基準

| 区分 | 基準値 | | | |
|-------------------------|--------------------------|--------------|----------------|----------------|
| | 児童(6歳～7歳)の場合 | 児童(8歳～9歳)の場合 | 児童(10歳～11歳)の場合 | 生徒(12歳～14歳)の場合 |
| エネルギー (kcal) | 530 | 640 | 750 | 890 |
| たんぱく質 (%) | 16～26 | 18～32 | 22～38 | 25～40 |
| 脂質 (%) | 学校給食による摂取エネルギー全体の25%～30% | | | |
| ナトリウム (食塩相当量) (g) | 2未満 | 2.5未満 | 2.5未満 | 3未満 |
| カルシウム (mg) | 300 | 350 | 400 | 450 |
| 鉄 (mg) | 2 | 3 | 4 | 4 |
| ビタミンA (μgRAE) | 150 | 170 | 200 | 300 |
| ビタミンB ₁ (mg) | 0.3 | 0.4 | 0.5 | 0.5 |
| ビタミンB ₂ (mg) | 0.4 | 0.4 | 0.5 | 0.6 |
| ビタミンC (mg) | 20 | 20 | 25 | 35 |
| 食物繊維 (g) | 4 | 5 | 6 | 6.5 |

(注) 1 表に掲げるもののほか、次に掲げるものについてもそれぞれ示した摂取について配慮すること。

- 1 マグネシウム……児童(6歳～7歳) 70mg、児童(8歳～9歳) 80mg、児童(10歳～11歳) 110mg、生徒(12歳～14歳) 140mg
- 2 この摂取基準は、全国的な平均値を示したものであるから、適用に当たっては、個々の健康及び生活活動等の実態並びに地域の実情等に十分配慮し、弾力的に運用すること。

※ 範囲……示した値の内に納めることが望ましい範囲